

みんなでつくる 緑の街

戸

植える樹木の種類や場所、生け垣や柵の構造などについて決めます。

樹木や生け垣の種類を選ぶにあたっては、それぞれの場所の空間の特徴などを考慮し、日常生活の中で、楽しめるものを選ぶことが大切です。街並みの雰囲気大切にしながら、緑を育てる楽しみを味わってください。

ここで、街の個性を創造する“しかけ”を紹介します。

建

住

宅
の場合

玄関・ポーチ



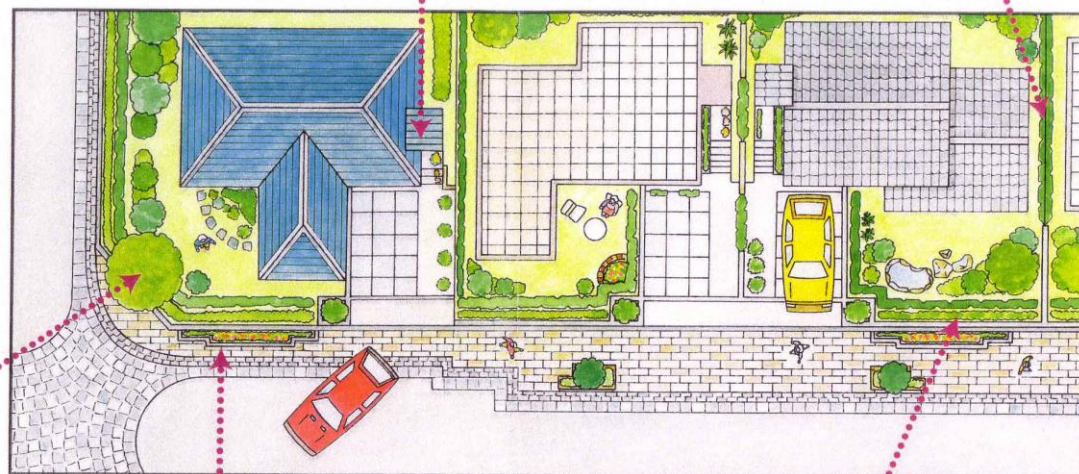
玄関先を緑で演出しましょう。花鉢を飾って、華やかさを添えることで、来客の目も楽しませます。



壁面ツル植物



ブロック塀の場合は、生け垣に代えるかツル性の植物などで、はいあがる種類を使用したり、上部に植えられる場合は、たれさがる種類を用います。



シンボルツリー



コーナー（角地）や目印となる家では、街のシンボルとなるような木を選んで植えましょう。

道沿いの植え込み



生け垣を道路から少し敷地内にセットバックさせて、草花や花の咲く低木などを植えるスペースをつくり、緑のベルトの足元にアクセントをつけるために花を飾ることも効果的です。石積やよう壁のある場合は、ツル性植物などで壁面を覆うと家並みがソフトに感じられます。

生け垣



道路沿いに連続する緑のベルト（生け垣）は、街並みの美しさをより際立たせ、通りを行く人たちの目を楽しませてくれます。生け垣にする樹木は、花の咲くものや、実のなるものなどを使用することで四季の変化も楽しめます。

GREEN

緑地協定で魅力のあるまちへ
戸建編



色の取り合わせが「オシャレな家」を演出する



生け垣の緑に門まわりの花鉢が彩りを添える



生け垣が続き、通りに表情をもたらししている



生け垣と石組みの植え込みが美しく手入れされている



道沿いの植え込みに、楽しい工夫が感じられる